

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療心理科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	精神保健福祉総論VI		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時間	後期 水曜2限	教室名	5校舎9階
担 当 教 員	小笹智代 上江洲友亮	実務経験と その関連資格				
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>本講義では前期・発達心理学で学んだ内容をベースに、定型発達とは異なる発達プロセスを経る「発達障がい」について、そのような児童を受け入れている放課後等デイサービスの職員の視点から、その特性や課題、支援方法についての具体的な解説を行う。ひとつの障がいであっても発達段階ごとに困り感や課題のあらわれ方はちがってくるので、発達の視点をもった支援方法について理解を深めることを目的とする。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席評価点20% ・平常評価点10% ・試験素点70% 						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>教科書は使用せず、スライドおよび適宜資料の配布によって講義を行う。</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>講義後に配布するふり返しシートや感想シートに記入し、復習を行うこと</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義後に配布するふり返しシートや感想シートに記入し、復習を行うこと ・関連する映画視聴を行う場合、感想シートへの記入を行い、平常評価の参考とする 						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	「障がい」の定義やとらえ方の変化を学ぶ。障害をとらえるモデルをその分類と合わせて理解し説明できるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> ・スライド ・配布資料 ・ふり返しシート 		
		各コマにおける授業予定	障がいとはなにか/発達障がいの概念の変遷/発達の多様性と社会・医学・ICFモデル/発達障がいの分類/日本の制度や法整備の変遷/インクルーシブ教育と合理的配慮			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	知的障がいの定義や診断基準について学ぶ。知的障がいに特有の困りや課題・特性について理解し、具体的な支援方法を考え説明できるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> ・スライド ・配布資料 ・ふり返しシート 	前回の資料やふり返しシートに目を通していき、授業内容の理解を深めること	
		各コマにおける授業予定	知的障がいの定義や診断基準/知的障がいと診断されるまで/知的障がいの原因と疫学/知的障がいと関連する発達障がい/知的障がいに特有な困り/演習:知的障がいへの具体的な支援を考える			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	自閉スペクトラム症の定義や診断基準について学ぶ。ASDに特有の困りや課題・特性について理解し、具体的な支援方法を考え説明できるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> ・スライド ・配布資料 ・ふり返しシート 	前回の資料やふり返しシートに目を通していき、授業内容の理解を深めること	
		各コマにおける授業予定	自閉スペクトラム症の定義や診断基準/ASDと診断されるタイミング/ASDの原因と疫学/ASDと関連する発達障がい/ASDに特有な困り/演習:ASDへの支援としてのTEACCHプログラム			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	注意欠如・多動症の定義や診断基準について学ぶ。ADHDに特有の困りや課題・特性について理解し、具体的な支援方法を考え説明できるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> ・スライド ・配布資料 ・ふり返しシート 	前回の資料やふり返しシートに目を通していき、授業内容の理解を深めること	
		各コマにおける授業予定	ADHDの定義や診断基準/ADHDと診断されるタイミング/ADHDの原因と疫学/ADHDと関連する発達障がい/ADHDに特有な困り/ADHDへの支援としての薬物療法/演習:ADHD支援における構造化のポイント			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	限局性学習症の定義や診断基準について学ぶ。SLDに特有の困りや課題・特性について理解し、具体的な支援方法を考え説明できるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> ・スライド ・配布資料 ・ふり返しシート 	前回の資料やふり返しシートに目を通していき、授業内容の理解を深めること	
		各コマにおける授業予定	限局性学習症の定義や診断基準/SLDと診断されるタイミング/SLDの原因と疫学/SLDと関連する発達障がい/SLDに特有な困り/演習:SLDへの支援としてのICTと合理的配慮			

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標 児童期に特有な関連するその他の発達障がいについて学び、具体的な支援方法を考え説明できるようになる。	・スライド ・配布資料 ・ふり返しシート	前回の資料やふり返しシートに目を通していき、授業内容の理解を深めること
	各コマにおける授業予定	ギフテッドと2Eの診断基準と特性・困り/発達性協調運動障害の診断基準と特性・困り/児童期の精神疾患(気分障害、社会不安障害、トラウマ、虐待、愛着障がい)/不登校・ひきこもり		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標 発達障がいの当事者視点について理解し説明できるようになる。	・スライド ・配布資料 ・ふり返しシート	前回の資料やふり返しシートに目を通していき、授業内容の理解を深めること
	各コマにおける授業予定	発達障がい当事者にスポットをあてた映像教材(作品は授業経過を見て選定)を見て、当事者の感じ方や世界を考える		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標 発達障がいを抱える児童の支援機関としての放課後等デイサービスについてその概要を学び説明できるようになる。	・スライド ・配布資料 ・ふり返しシート	前回の資料やふり返しシートに目を通していき、授業内容の理解を深めること
	各コマにおける授業予定	放課後等デイサービスとは/放デイの目的と支援内容/法的根拠/放デイで働くスタッフ/利用までの流れ/個別支援計画とモニタリング		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標 放課後等デイサービスの1日のスケジュールと活動プログラムについて説明できるようになる。	・スライド ・配布資料 ・ふり返しシート	前回の資料やふり返しシートに目を通していき、授業内容の理解を深めること
	各コマにおける授業予定	ある1日のながれ/職員介入のポイントと大事にしている点/送迎場面/学習場面/自由時間・おやつ場面/療育プログラムの場面/1日のふり返りの場面/引継ぎ/休校日の活動/安全管理とリスクマネジメント		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標 放課後等デイサービスの5領域の支援を説明できるようになる。	・スライド ・配布資料 ・ふり返しシート	前回の資料やふり返しシートに目を通していき、授業内容の理解を深めること
	各コマにおける授業予定	健康・生活/感覚・運動/認知・行動/言語・コミュニケーション/人間関係・社会性/演習①活動ごとの介入ポイント/演習②支援プランの組み立て/演習③問題行動への介入		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標 放課後等デイサービスにおける専門的支援を説明できるようになる。	・スライド ・配布資料 ・ふり返しシート	前回の資料やふり返しシートに目を通していき、授業内容の理解を深めること
	各コマにおける授業予定	放デイで働く専門職/専門的支援実施計画とは/心理職の支援/応用行動分析の理解と活用/演習①カウンセリングマインドを活かしたヒアリング/演習②応用行動分析を活用した見立てと支援		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標 放課後等デイサービスにおける機関連携を説明できるようになる。	・スライド ・配布資料 ・ふり返しシート	前回の資料やふり返しシートに目を通していき、授業内容の理解を深めること
	各コマにおける授業予定	放課後等デイサービスと横のつながりのある機関(学校・相談支援事業所・病院・市町村・児童相談所・その他)/それぞれの役割分担/連携のポイント/緊急時の対応/演習:ケース会議への出席		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標 放課後等デイサービスを利用する保護者への支援を説明できるようになる。	・スライド ・配布資料 ・ふり返しシート	前回の資料やふり返しシートに目を通していき、授業内容の理解を深めること
	各コマにおける授業予定	利用者保護者のタイプ/保護者とかかわるタイミング/保護者対応の注意点/対応が難しい保護者について/演習:保護者対応の実践「こんなときどうする?」		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標 架空事例について考え説明できるようになる。	・スライド ・配布資料 ・ふり返しシート	前回の資料やふり返しシートに目を通していき、授業内容の理解を深めること
	各コマにおける授業予定	架空事例の児童・保護者について、利用に至る経緯から利用開始後のようす、介入のポイントや工夫について縦断的なケース検討を行う		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標 講義のまとめとふり返し	・スライド ・配布資料 ・ふり返しシート	前回の資料やふり返しシートに目を通していき、授業内容の理解を深めること
	各コマにおける授業予定	後期講義内容のふり返し/障がいとはなにか/知的障がい/自閉スペクトラム症/ADHD/SLD/その他の関連する障がい/放課後等デイサービス概説/5領域の支援/専門的支援/機関連携/家族支援		